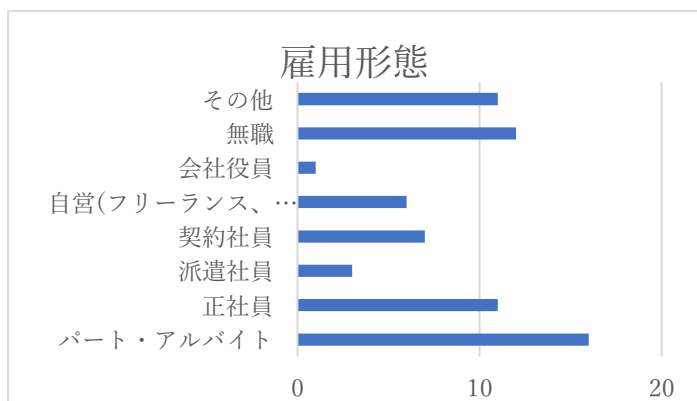


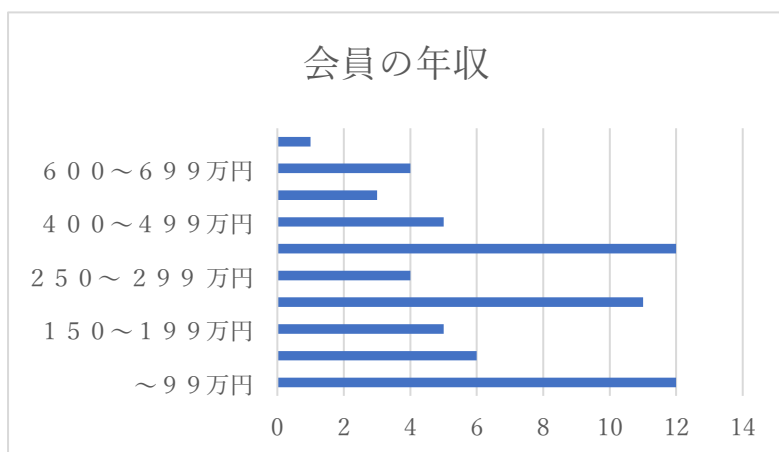
ACW2 会員アンケート まとめ 2021年2月13日現在 63人回答

1. 雇用形態 非正社員 29 正社員 11 無職 12 自営・業務委託 6人
 パート・アルバイトが16人で一番多い

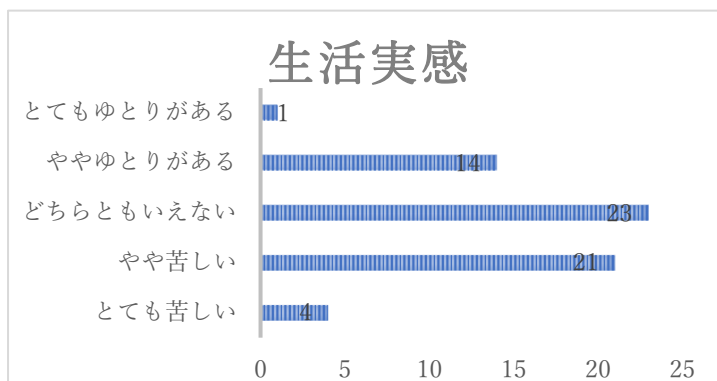


その他（非正規
 公務員 2 NPO
 1 再雇用 1
 指定管理 1 特
 別職公務員 1
 嘱託 1 その他
 不明 2)

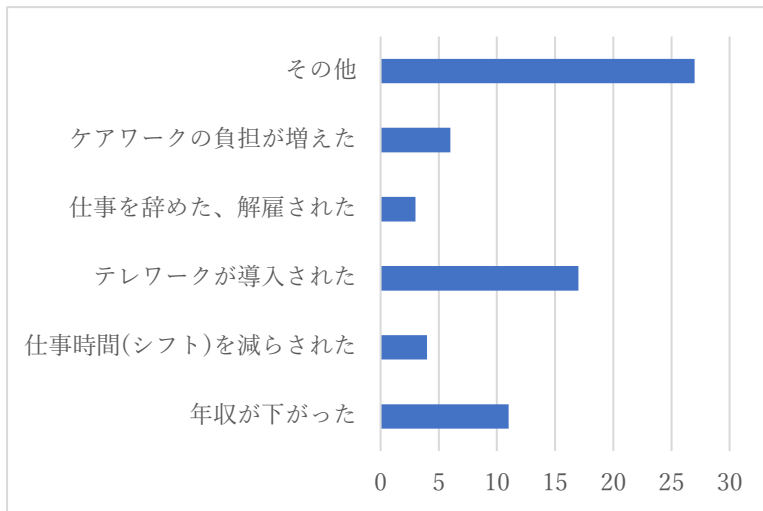
2. 会員の年収 99万円以下 12 300~399万円 12 200~249万円 11 の順で
 300万円未満の計38人で半数以上



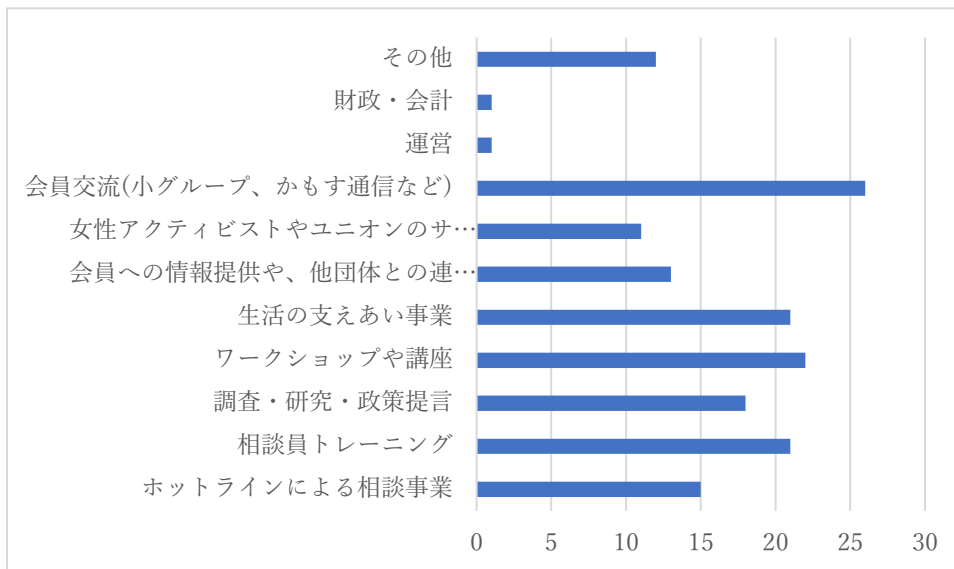
3. 生活実感 生活が苦しい 25人 (やや苦しい 21 とても苦しい 4)



4. COVID-19の影響であなたのはたらき方は変わりましたか？



5. やりたいこと参加したいこと



6 生活のなかで、満たされていること

- ・心の平穏。
- ・好きな物を食べられる
- ・生き甲斐を感じ、また、海外の若い仲間と出来る仕事(週2日程度)がある。定年後の生活としては、経済的、生き甲斐となる仕事の両方で恵まれていると感じている。
- ・孫の成長を見守れること・制限はあっても仲間とつながって活動ができていること
- ・話すこと
- ・そこそこの、生活ができていること。

・毎日の食事については、特に心配なく食べることができる。今のところ、大きな健康の不安もなく生活できる。現在も仕事がある。家族や様々な人とのつながりがある。

・自分の時間が増えた

・リモートワークで通勤がなくなり時間にゆとりができた。電車通勤の負担も減って体が楽になった。

・気の合った人と、楽しく穏やかに過ごす。趣味をする時間的な余裕と金銭的な余裕があれば嬉しいです。

・とりあえずお腹は満たされている(他に見当たらない)

・なし

・家族との時間

・満たされてる事?って質問の意図もつかめない。ある訳がない。

・在宅ワークで会社に行かなくてよい日があること

・睡眠時間が確保できるようになった。

・行事等が少ないので家人のケアができる。"

・体調

・家があるだけ幸せと思わなければ…

・自由な時間

・散歩、植物を育てること、とりあえず仕事があること

・家にいて出来ること、特に楽器をひくことが、今までより出来る時間が増えたこと。

・親との関係が今は良好なこと。

・映画館がやっていて、見に行く時間とお金が工面できていること。"

・健康であること

・仕事があり、春～夏に止まっていた地域の行事が一部復活していて、ボランティア活動をしていて、自分自身孤立していない事。

・仕事に関係ない内容の読書時間がとれる。

・毎朝のジョギングとそこで出会う高齢者との会話やふれあい、励まし合い"

・休みの日にストーブの前で犬とまったり過ごすこと。

・趣味の読書に不自由はしていないし、その気になれば食べるものにもプチ贅沢はできる。状況によっては、休養も多めに取ることもできる。

・短いながらも子どもと過ごす時間

・ほぼ健康

・友達に会うこと。今は食事もゆっくりできないので、つらいです。

・本を読む事。フラワーアレンジメント等の作品を作る時間。

・家族との会話。私立に通う高校生・大学生が3人いて学費がかかりますが若者たちとの交流は楽しく発見の連続です。

・仕事があり、人との交流もある。大変なときだが孤立していない。

・平時よりは多少、時間がつくれていること。

・仕事、趣味、私生活

・お金はなくなったが、時間だけはできたので一人でできる趣味を極めている。文章を書いたり、プラン

ターでハーブを育てたり、家の断捨離をしたりしている。一見丁寧な暮らしをしている人みたいになっているから、変だ。将来のことを考えなければ、たしかにいまの方が幸福感を覚える瞬間もある。どうせ、低賃金で決定権のない仕事についていたのだから！と思ったりする。

- ・ 家族との会話、友人知人や仕事仲間との会話、zoom での勉強会、学習会
- ・ 家でパートナーと一緒にご飯を食べる時間。常に話を聞いてくれる人がいるのは
- ・ 考えること
- ・ 以前に比べて時間ができ、自分のために時間を使っている。
- ・ 同居人と過ごす時間が増え、関係が深まった。"
- ・ 在宅時間が増えたので、新聞をゆっくり読む、TV を見る時間が増えた。外食はせずに自炊をしていること。
- ・ 繋がっていることが実感できる場面があること。
- ・ 満たされてはいるが、
- ・ パートナーの存在に助けられている。"
- ・ 活動が制限されたおかげで、参加するイベントを減らし、時間に余裕ができた。
- ・ 仲間がいること。
- ・ 時間が出来、趣味を増やそうと思えるようになった
- ・ 仕事がうまくいったとき、食事、友人との交流、読書
- ・ おいしいものを食べ、お酒を飲むことくらいしかない。
- ・ ひとりの時間は確保できており、人間関係のストレスはあまりない。変えたお薬が合って、朝起きやすくなった。カロリー計算してごはんを食べている。そういうことを思うとしあわせな気持ちになる。
- ・ 自分の時間が増えた
- ・ ボランティア活動やサークル活動
- ・ 今は、自分の貯金がまだあるので貯金で暮らせました。夫はいますが、経済的に頼っているわけではありません。日本の伝統的家族の夫稼ぎ主型ではありません。しかし、昨年3月以降コロナの影響で、夫がテレワークになり、家族だけで家の中にいると家事育児分担を巡って衝突もありましたが、コロナでシッターさんに来てもらわないことにしたので、「家事も育児も全員でするもの」という意識になってきたのは良かったと思います。

7 あなたが ACW2 会員を続けている理由

- ・ 女性で単身、非正規雇用という状況下で、孤立してしまうことが無いよう、他の会員とも繋がりたいと思いました。
- ・ 女性が社会的に連帯するネットワークが必要だから
- ・ お金も知識もない若者がつけこまれる事例がこれからも増えると思うので、労働者の権利について啓発や学習できる団体だから
- ・ 会員それぞれの方が、個性的で才能豊か。
- ・ 働く女性の実態を知ることができるし、今後の方向性を考えることができるから
- ・ 皆さんと話すことができるから

- ・相談事業等、意義のある活動だと思うから
- ・今を生きる女達の事を知る事ができるので。
- ・女性労働問題に特化した団体は少なく、社会的な意義があると存在だと思っている。
- ・女性労働の貧困問題があるから
- ・主体的に何かを始められる年齢ではないけれど、身近でACW2を見ていたい。
- ・女性労働者のつながりが持てる会や相談場所があることは良いことだから。
- ・かもす通信などを楽しみにしています。
- ・応援している
- ・女性の地位改善
- ・結婚してから思うように働きません。夫の勤務時間に合わせてお弁当をつくらなければいけなかったり、変則勤務で夜中に帰ってきたり、妻をしながら子供を育て、働くというのは大変。短時間勤務しか選べないので、この状態でどうやって働きつづけるのかを考えたいです。
- ・働く女性たちと繋がりたいから。
- ・少しでも生きやすい社会にしたいから
- ・女性労働に関する情報が、豊富に送られてくるので、有難い。
- ・ホットラインを受ける活動に参加することで、全国的な状況を知ることができて、有難い。
- ・女性の働く環境に課題があり、労働者としての連携が必要と考えるから。
- ・社会にとって、女性にとって、必要な団体だと思うから。
- ・関わった経緯から。
- ・現状確認
- ・働く女性の様々な情報を得ることができる。
- ・会員間の交流、学びの場
- ・これまで、いくつかフェミ的なグループに参加してきて、ここのゆるいけど対等な繋がりが気に入って。
- ・ゆるやかに繋がれている感じが心地よい。ゆるやかとは言え、仲間がいるという感触が心強くも思う。
- ・自分自身は退職したが、働く女性の力になれることがあればやりたいと考えている。
- ・ニュースを読んで、会員の方のお話、新聞等では知り得ない世の中の事を知る事。
- ・女性労働の現状を知れる、メンバー間の平等な関係や学び合いが心地よい、平等で平和な社会へ向けての模索ができる
- ・働く女性の運動に期待している、寄与したいと思っているため。
- ・一人では知り切れない情報をたくさん提供してもらえるから。
- ・ACW2の存在意義、社会的な役割の重要性。
- ・ジェンダー政策研究者だから。
- ・安心して参加できる。歳が上の人でも違うと思ったことは違うといえる雰囲気がある。
- ・参加することがなかなかできませんが、活動の様子等も含めて共感する事ができる事です。
- ・派遣社員との待遇差が浮き彫りになった頃に入会しました。私は正社員だが派遣の多くの後輩を見てきた。
- ・いろいろな人をそのまま受け入れようとする姿勢、100年ビジョンをうみだす土壌

・現在、コミットしているものではなく、情報は拝見していますが、活動を支えるという目的が今は大きい
です。

・働く女性をめぐってどのような問題が生じているか、それにどう対応したら良いのかを考えるため。
・社会のことについて、まじめに話せる人間関係が欲しかったから。何かあったときに、相談できる先の
一つとして。

・メーリングリストからもたらされる情報が質の良く必要性が高い
・女性のネットワークに加わっていたい
・働く女性たちはいろんな困難に直面することになるため、支え合う場が必要だと思うので。
・連帯感
・ジェンダーの視点から労働の課題について考え合える大切なグループと思うので。
・活動に参加はできないけれど、ACW2の活動を応援していますという意思表示です。
・素敵な仲間がいるから
・狭い意味の労働だけでなく、働くこと全体に関わる提起を受けられるから。
・団体の理念に賛同する。
・女性に対する「労働」への眼差し。
・知らなかった情報を取得できる。
・支援ではなく、本人が自分の力に気がついて発揮できるよう、相手を尊重して話すことを基本にしてい
る ACW2 が続くのを応援したいから。
・正規と非正規が手をつなぐことが本当に難しくなっています。それでも、同じ労働者として、一致点を
模索していきたいというのが理由です。

・私が入手出来ないような情報を得ることがある
・女性たちがどのように困難さを乗り越えているのか、気になっているから
・女性どうしの連帯の可能性に期待しているから。
・平場を作れる人がたくさんいて、居心地よし、とても学ぶところがあるから。
・女性たちの連帯ができる
・メーリングリストで得た情報で、講座や活動に参加できる"
・働く女性のナショナルセンター、働く女性のエンパワメント、全国の会員との交流、働く女性のホッ
トライン

・様々な職種・形態で働く女性達と情報交換できる場として ACW2 のネットワークに関心を持ちました。
賃労働の労働環境の問題だけではなく、出産後はケア労働についても個人的に関心があったので、ACW2
が「はたらく」の意味を広く日常的な無償ケア労働にも広げているところにも共感します。介護の分野で
国賠訴訟を闘っている伊藤さんの取り組みについてももっと知りたいです。ただ、今は日々の生活だけ
で疲れ切っていて、殆ど何もできないのが心苦しいです。育児負担がなかったとしても、私は元々組織的
な行動の一員とし組織だって長期的に活動する、というのがとても苦手なので、不安や申し訳なさがあり
ます。

・女性ユニオンが貴重だから。
・様々な女性が考えて、ものを言って、頑張っているところを拝見するだけでも心強く思うから
・情報収集のため

8 ACW2 に対して、どう思うか

- ・当事者が多い、当事者の団体。
- ・女性の社会的連帯をどう実践するのか模索している。と、感じ加入し続けていますが、少し参加しにくい雰囲気(閉鎖的な感じ)があります。そう感じるのは、自らは不安定な生活には今ないため、(会に参加すると)他会員の方とハレーションを起こしてしまうのではと考えて控えています。交流や話したいという気持ちはあるのですが…。
- ・既存の労働組合や女性の人権団体ではカバーやフォローできない、または見落とされがちな問題や女性たちのニーズや声を拾って活動していると思います。
- ・当初は、支援団体だと思っていた。現在は、会員相互が繋がりを通じてエンパワメントしていく団体だと感じている。
- ・会員がもっと増えるといいなと思っている。いろいろな考え方、状況の人がいるが、率直に意見を出し合い対話の土壌を醸すことの重要性を日々感じている
- ・入会当初は、相談事業が中心の団体だと思っていたが、活動が多岐にわたることが分かった。もっと、「支え合う」ことを前面に出しても良いのではないかと思う。
- ・「駆け込み寺」のような役割をはたしつつ、支え合うようなイメージです。
- ・企業もパトロンもなく、良く活動されていて、いつも頭垂れております。
- ・他団体との連携やネットワークが狭くなっていると感じている。
- ・団体の基本姿勢は大事にしつつも、違いに目を向けるのではなく、連携できるところは連携して活動することが、女性労働問題の解決につながると思っている。
- ・運営委員会と会員との繋がりが有機的にできてない。世代交代は必然だと思う
- ・今までの運動にはない新しさが魅力。いつになったら社会的に認知されるのだろうか。まだまだかかるのでしょうか？ 次世代が、どうつないでくれるのか楽しみです。
- ・頑張って活動を続けていると思う。会員の増加や活動拡大は難しそう。
- ・思ったよりも色々な活動をしていた。全然参加できていませんが、参加できるようにしたいと思います。
- ・自己尊重のプログラムを受けて、とても良かったと思っている。今は仕事について忙しく参加できていない
- ・女性の視点が欠落したこの国で地に足をつけて現実的な行動を地道に続けている。絶対に失ってはいけない最後の砦である。
- ・非正規雇用の女性の味方。
- ・入会したらコロナで活動らしい活動に参加できてないのが、残念です。
- ・始めた頃は、普通の女性団体だったと思う。でも、醸すようになって、他にはない団体になったと思う。もっと広げていけると思うが、なかなかそうはいかないのだろうか。対立を解消することを目指さず対話をしていく、対立のままに対話し続けるというのは良いと思う。
- ・働く女性の人権センターいこる が、連携しなければいけない団体だと思っている。4～5年前から、ACW2 の実際の活動が地域でしかできないものに、変わってきているように感じます。
- ・労働問題は女性だけでなく、LGBT や若年層、高齢者、外国人など、発足時から拡大・多様化している

ように感じる。女性も被害者であるときもあれば、加害者となっている場面もあるかもしれない。活動においても視野を広げる必要があるのではないか。

・今は会員でいるだけになってしまっていて、コミットできない状態です。自分のやっている活動とリンクできたら、広がりや深まりが出るのではと思っています。

・主流の理論からは見えない厳しい状況で生きている生活実態を知っていて、差別や搾取を超えた将来の社会を目指そうという姿勢に共感した。特権や権力への視点も新鮮だった。組織自体もそれらの視点で見直しながら日々の活動を作っていくと願ったが、それがとても難しかった。組織の発展に繋がる活動力が私に不足していたこともあり。

・「トランス差別反対」という立場なのかなあと思うのですが、トランスジェンダーはアンブレラタームなうえ、身体的女性の安全を脅かしてまで平等を強制されるのは困ります…

・財政的に厳しいので、運営が大変だと思う。

・多様な方がいらっしゃると思いました。女性が働くことを支援する団体

・働く女性の全国センターと言う名前だが、働けない女性も参加できる会であると感じて参加した。

これからも、働いてる人、働けない人も含め、弱い立場の女性を応援する会として続けて欲しい！"

・いろいろな立場の人がいるのではないかと思う。それが良いと思う。排他的な空気を感ぜない。(しかし、それが自分の特権かもしれない...)

・働く女性のための、働く女性による団体。相談活動をしている団体。

・入会当時、解雇されていて、色んな意味で助けて欲しくて入会しました。しかし、これまで一度も助けられたと感じていません。活動は、ある一部の方の自己満足でしかなくて、またある一部の話題性のある問題にしか関わっていないと感じています。現在、コロナで大勢の方が不安定な雇用により、生活が困窮していくでしょう。今一度、活動を振り返って見たら良いのではないのでしょうか？"

・メンバーを大切にしながら平等で生きやすい社会へ向けた活動をしている団体

・もっと力強い女性のパワーを感じさせる運動になればいいと思っている。

・頼れる存在。ACW2 に対して寄与できないことの方が多く、本当はACW2 の活動に参加したいけど、体力・気力と時間、費用がない。

・運動やメンバーに真摯に、正直に、丁寧に向き合っていると思います。

・色々工夫されていると思います。大変そうとも。

・いろんな人が参加している。運営していく人が今後続くのかが心配。

・世代を超えて、女性たちの働く社会の状況、個々に成長、生きていく悩みを共有し、課題を明確にしていく場所だと思っています。

・ここ数年やっと時間的余裕が出てきて相談員トレーニングに参加しました。卒業したものの仕事が増えたことと会社で女性の立場を上げる活動をしていて悩みが増えて、なかなか次の一歩が出せませんが、いつか相談事業に関われたらいいなと思っています。

・働くと生きるを紡ぐ、ほかにない団体だと思う。運営面で行く末が心配だけど、参画する余力がない。

・とても頑張って活動されていると思います。

・まだ、ゆるくしか参加していないので、すごくイメージや意見を持っているわけではない。ML には関心あることがたくさん流れてくる。末端ながら、財政状況がたいへんそうで気になっている。HP から寄付がしにくいので、PayPal やクレジットカードで支払うボタンがあってもいいんじゃないかと思ってい

る。

- ・シスターフッドに基づく支え合い、気づきあいができる仲間
- ・時間があつたらもっとワークショップや講座に参加したい
- ・参加したいときに参加できる
- ・親しみやすい団体だと思う。
- ・つながりをつくる団体
- ・専従スタッフにいてもらい、活動が広がっていいなと思いますが。なかなか、むずかしいですね。・大きな労働組合などがもっと強力的で、財政面等でサポートしてくれるようなことは期待できないでしょうか。組合ではない労働問題について考えるグループがあり、発信することに意義があると思うのですが。
- ・困難な状況下にある非正規労働者の要求実現を足元から一つずつ取り上げて進めてほしい。それが組織化できればいいなと思います。
- ・代表や運営委員が無神経で嫌。
- ・ひとりひとりが出来ることを提起していると同時に、ローカルに住む者にとって、国会や政局を的確に伝えてくれる
- ・素晴らしい団体だと思います。
- ・このような団体は、あまりないように思うので、存続できると良いのですが、運営は、つらく大変そうに感じます。
- ・かもす通信、面白く読ませていただいています。
- ・正直、あまりよくフォローしてなくて、よくわかっていません。
- ・女性たちの生きた声を伝える団体。女性どうし助け合う団体。
- ・ACW2のことについて、働く人、働けない人が分かれてしまって、働けないワタシは申し訳なきが募ってる。テレワークできたら良いのに。
- ・女性たちが自由につながれるとてもよいネットワークになっていると思います。
- ・会費も安くて参加しやすいです
- ・もう少し全国的に広がりを持つことを期待していたが会員が減少してきている。
- ・自分も含め高齢化している。
- ・これからも緩やかに繋がり続けたいと思います。ACW2 のメンバーとしてガッツリ活動に加わることができない状態で心苦しいのですが、様々な職種・形態で働く女性達と情報交換できる場として ACW2 のネットワークに繋がりたいです。
- ・私の雇用は安定しているが、日本女性全体として実際はどうか？リアルな情報を知りたい。雇用だけでなくセクハラ、パワハラなど実情を知りたい。仲間として繋がりたい。
- ・働く女性のお困りごとについて一緒に考えて解決策を模索するところ。